

平成 28 年度 京都市北白川児童館 評価結果

I. リーダーシップと意思決定

1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		
1	事業所が目指していること（理念、基本方針）を明確化・周知している	
	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を明示している	○
	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○
	3. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○
	2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	○
	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	○
<p>【講評】 児童館の理念や基本方針を職員に浸透させ、利用者への周知・理解の促進に努めています</p> <p>① 利用者や地域に対して、ホームページやおたよりで児童館の取り組みの視点や考え方を発信しています。 ② 満足度調査を実施して利用者ニーズをくみ取ろうとする努力をしています。 ③ 法人における経営会議が執行機関として機能し、当該法人が運営する複数の児童館およびそれ以外の福祉施設の職員に対し、基本理念や方針を伝達して共通の価値観を形成しています。</p>		

II. 経営における社会的責任

1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		
1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などを明示している		○
2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などの理解が深まるように取り組んでいる		○
3. 事業所のコンプライアンスや社会的責任を明確にして、職員保護や法令遵守に対する取り組みを行っている		○
2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		
1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるよう取り組んでいる		○
2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法（事業者便り・会報など）で地域社会に事業所に関する情報を開示している		○
2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		
1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している（施設・備品等の開放、個別相談など）		○
2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動（研修会の開催、講師派遣など）を行っている		○
2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		
1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢をもち、受け入れている		○
2. ボランティアの受け入れ体制を整備している（担当者の配置、手引き書の作成など）		○
3. 利用者や地域住民を対象としてボランティア育成を行っている		○
3 地域の関係機関との連携を図っている		
1. 地域の関係機関のネットワーク（事業者連絡会など）に参画している		○
2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		○
3. 小学校等利用者が関係する機関と連携を図っている		○
【講評】		
コンプライアンスと地域福祉への貢献に意識した児童館運営をしています		
① 「施設職員の心構え」（理念とマニュアル）を定め、コンプライアンス遵守に取り組んでいます。		
② 児童館施設を地域の方々に開放したり、児童厚生員の専門性を地域に提供したり、人的・物的な貢献をおこなっています。		
③ ボランティアには、「ボランティアの手引き」を提示し、ボランティア担当職員が説明・対応しています。		
④ 地域の子ども子育てネットワークに参画し、各種地域関係団体との連携・協力関係を構築しています。		

Ⅲ. 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
1 利用者一人ひとりの意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応している（苦情解決制度を含む）		
1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○
2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる		○
2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		
1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる		○
2. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる		○
3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		
1. 地域の福祉ニーズの収集（地域での聞き取り、地域懇談会など）に取り組んでいる		○
2. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）の収集に取り組んでいる		○
【講評】		
利用者や地域のニーズを理解・把握するために情報収集し、サービスの向上に活用しています		
① 「相談・苦情マニュアル」や「相談・苦情内容記録票」様式をもち、苦情窓口となる第三者委員名を館内に表示しています。		
② アンケートを実施して利用者ニーズや要望を把握し、サービスの向上につなげています。		
③ 地域の各種団体との会合に出席し地域の課題やニーズについて理解を深めるとともに、館長が積極的に国や市の委員等として参画するなど児童館の現状にかかる関係情報の発信者となっています。		

IV. 計画の策定と着実な実行

1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している		○
2. 年度単位の計画を策定している		○
3. 短期の活動についても、計画的（担当者・スケジュールの設定など）に取り組んでいる		○
2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている		○
2. 計画は、サービスの現状（利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など）を踏まえて策定している		○
3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
1. 計画推進の方法（体制、職員の役割や活動内容など）を明示している		○
2. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している		○
2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
1. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している		○
2. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている		○
3. 利用者の負傷等に対する傷害保険に加入している		○
4. 賠償すべき事故に対する損害賠償保険に加入している		○
【講評】 児童館の事業について年間計画と中長期計画を策定し、計画的な施設運営をおこなっています		
① 中長期計画、年度単位の計画、月間計画を立て、法人本部および児童館が役割を分担して取り組んでいます。 ② 事業計画、職員役割分担を明示し、取り組みの成果と課題に着目した報告書を作成して、計画したことを着実に実行しています。 ③ 緊急対応マニュアルを整備するとともに、京都市作成の活動指針や安全マニュアルに準拠して、利用者の安全確保・向上に努めています。		

V. 職員と組織の能力向上

1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		
1 事業所にとって必要な人材構成にしている		
1. 事業所の人事制度に関する方針（人材像、職員育成・評価の考え方）を明示し、採用している		○
2. 採用に対する明確な基準を設けている		○
2 職員の質の向上に取り組んでいる		
1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している		○
2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している		○
3. 職員一人ひとりの個人別の育成（研修）計画に基づいて、必要な支援をしている		○
2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		
1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		
1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している		○
2. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		○
2 職員のやる気向上に取り組んでいる		
1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬（賃金、昇進・昇格、賞賛など）が連動した人材マネジメントを行っている		○
2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど）を把握し、改善に取り組んでいる		○
【講評】		
職員一人ひとりの状況を把握し、適切な育成・評価をおこなって組織力の向上を進めています		
① 同法人内の管理運営する児童館に共通する人事考課をおこない、人材育成の考え方を明確にしています。		
② 職員一人ひとりのキャリアに応じた研修機会が提供され、研修に参加した者は他の職員に報告するなど、能力や意識の向上につながる支援をしています。		
③ 勤務シフトや指定休などにより就業状況の改善を目指す努力をしているが、年次有給休暇の取得率がさらに上がることも運営上の課題の一つとなります。		
④ 本年度より定例化させた「職場改善委員会」では、職員個々の問題意識を職員間でまとめ、経営層へボトムアップし、職場の問題把握と改善に効果を上げています。		

VI. サービス提供のプロセス

1 サービス情報の提供		
1 利用者や地域住民に対してサービスの情報を提供している		
1. 利用者や地域住民が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○
2. 利用者や地域住民の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにして		○
3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○
4. 放課後児童クラブの利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、他の相談先紹介など支援の必要に応じた対応をしている		非該当
5. 事業所の利用促進につながるように創意ある広報活動がおこなわれている		○
【講評】 サービス情報の提供を積極的におこなっています		
① 毎月おたよりの発行やホームページの更新をおこない、潜在的な利用者が最新情報を入手できるよう配慮されています。おたよりには、年間行事写真の販売や大学生の児童館実習に関する情報など来館への動機付けとなり得る多彩な情報が掲載されています。		
② 毎月のおたよりは、小学校の全児童や近隣の保育所、幼稚園、子育て児童センターなど関係機関へ配布されています。また地域の回覧板を活用し、幅広い世代の住民へPRをおこなうことで、児童館への理解を促進しています。		
※京都市役所の方針で放課後児童クラブは希望者全てを受け入れるため、項目4は非該当とします。		

2 サービスの実施		
1 遊びの環境整備を行っている		
1. 遊ぶ際に守るべき事項（きまり）が、利用者に理解できるように決められている		○
2. 乳幼児から中高生までの児童すべてが日常的に気軽に利用できる環境がある		○
3. 利用者が自発的かつ創造的に活動できるように環境を整備している		○
4. 幅広い年齢の児童が交流できる場が日常的に設定されている		○
【講評】 多様な来館者に対応できるよう館内に細かい工夫と配慮が見られます		
① 放課後児童クラブの育成室では、おやつ時間を除いて自由来館児童も一緒に漫画を読んだり宿題をしたりし、緩やかに区別することで子どもたちができるだけ自由に交流できるよう工夫しています。		
② 図書室の蔵書は貸出をおこない、乳幼児親子の利用促進にもつながっています。		
③ 自由来館児童向けに、玄関前に毎日お茶とコップが用意されています。また入口正面に洗面所が設置されており、衛生面と子どもの動線を意識した設計の工夫がなされています。		
2 乳幼児と保護者への対応を行っている		
1. 乳幼児と保護者が日常的に利用している		○
2. 乳幼児活動が年間通じて実施されており、その内容が参加者のニーズに基づいたものになっている		○
3. 保護者同士が交流する機会が設けられており、保護者が企画や運営に参加している		○
【講評】 保護者同士の交流を重視した活動をおこなっています		
① 登録制の0～1歳児対象の乳児クラブ、2歳～未就学児対象の幼児クラブの活動を通して、年齢に応じた多様な体験ができるよう配慮されています。またママヨガやリトミックなどの自由参加型プログラムも取り入れ、乳幼児保護者同士が交流できる機会を積極的に設けています。		
② 参加者へアンケートを実施し、その内容を職員間で検討して活動の見直しをおこない、次年度の活動に		

	<p>反映させるなどしてニーズに対応しています。</p> <p>③ 図書室をランチルームとして開放し、未就園児、幼稚園児も含めた保護者の居場所として活用されています。</p> <p>④ 現在は職員主導で企画運営をおこなっていますが、乳幼児クラブの出席率が高く熱心な保護者が多いため、今後は保護者主体の取り組みも検討しています。</p>	
3	小学生への対応を行っている（核となる児童館活動）	
	1. 職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している	○
	2. 職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている	○
	3. 障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深め合える取り組みが行われている	○
	4. 行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・社会性を育てることを意識して企画されている	○
	<p>【講評】 小学校とも連携し子どもの遊び環境の充実に努めています</p> <p>① 小学校内に設置された立地条件をいかし、放課後は自由来館児と児童クラブ登録児童と一緒に校庭で遊ぶ時間を設けています。校庭に遊びに来た子どもたちとも自由に交流することができ、安全性を確保しながら子ども同士が仲間関係を育めることを大切にしています。</p> <p>② 外国にルーツのある児童がいる場合には、子どもの意思を尊重し必要に応じて個別に対応するとともに、子ども同士が良好な関係性を築くことができるよう配慮しています。</p> <p>③ 保護者参加型の行事を取り入れることにより、子どもたちの意欲を高めるとともに保護者がわが子の成長を実感できる機会となっています。</p>	
4	中学生・高校生世代への対応を行っている	
	1. 日常的に中学生・高校生世代の利用がある	○
	2. 中学生・高校生世代が自主性や社会性を養えるような活動を継続して実施している	○
	<p>【講評】 中高生世代の利用促進に向けた取り組みをおこなっています</p> <p>① 小学生の利用が午後5時までのところ中高生の利用は午後6時30分までとなっており、放課後児童クラブ0Bや0Gを中心とした中学生の利用が定着してきました。</p> <p>② 小学校高学年から中高生を対象とした「シアター会」を年5回程度、来館しやすい土曜日に実施し、同世代での交流や職員とのコミュニケーションの機会としています。</p> <p>③ 建物が小学校に隣接しているため学校の付帯施設のイメージが強く、中高生世代の利用促進に向けて、広報活動の工夫など課題意識をもっています。</p>	
5	子どもの権利を尊重した支援を行っている	
	1. 子どもの意見を述べる場や意見を生かす事業が提供されている	○
	2. 子どもからの相談に日常的に対応できる雰囲気がある	○
	<p>【講評】 子どもの意見を尊重した支援をおこなっています</p> <p>① 高学年児童対象の「あそびクラブ」では、子どもたちが主体的に活動内容を企画、実践しています。職員は子ども一人ひとりの意見を引き出し、また子ども同士が尊重し合う関係性が築けるよう支援しています。</p>	
6	配慮を要する児童・家庭への支援を行っている	
	1. 保護者からの相談に日常的に対応できる体制がある	○
	2. 障害のある児童の利用に対応する支援策が整っている	○
	3. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○

【講評】

日頃の保護者からの相談に応じる姿勢を大切にしています

- ① 乳幼児クラブの後や児童クラブのお迎え時には職員から保護者に積極的に声掛けし、些細なことでも気軽に相談できる雰囲気づくりに努めています。また立ち話であっても相談内容は日誌に記録し、職員間で情報共有しています。
- ② 児童相談所をはじめ、小学校、保育所、地域の民生児童委員会、社会福祉協議会などと連携し、必要に応じてケースカンファレンスをおこない、適切かつ継続的な支援方法を検討しています。会議に参加した職員は内容を記録し、職員全員に経過が分かるよう個人別にファイリングしています。

7 地域の児童の育成環境づくりを行っている

1. 住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している	○
2. 地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている	○
3. 児童館運営協議会等を設け、地域住民と共に育成環境づくりを検討する機会がある	○

【講評】

子育て支援活動の拠点施設として子どもの育成環境づくりに尽力しています

- ① 市の子育て支援事業の基幹ステーションとしての役割をいかし、小学校区をベースとした各ネットワーク団体との情報交換や意見交換をおこなっています。主催事業として一般市民向けに子育て関連の講演会などを企画し、地域住民に向けて子どもの健全育成環境に関する情報発信をおこなっています。
- ② 近隣の大学にも毎月おたよりを配布し、毎年実習生を受け入れる関係性があります。さらに学生の発案により、新たな地域課題にも取り組む計画が進められています。

3 サービスの開始・終了時の対応【放課後児童クラブ併設の場合のみ該当】

1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

1. 放課後児童クラブ利用の開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○
2. 放課後児童クラブの内容について、保護者の同意を得るようにしている	○
3. 放課後児童クラブに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○

2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

1. 放課後児童クラブ利用開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○
2. 放課後児童クラブ利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	○
3. 放課後児童クラブ利用の終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○

【講評】

児童クラブ開始時、終了時は特に保護者に寄り添うよう努めています

- ① 入会の際には説明会を実施し、利用に関する基本的な活動方針や内容、年間計画等について説明をしています。また個別の相談にも丁寧に対応し、入会前の保護者の不安をできるだけ取り除くように努めています。
- ② 子育て支援のネットワークを活用し、新1年生の入学前に保育所へ見学に行くようにしています。保育所と小学校、児童館で新1年生連絡会を設け、保護者の要望と子どもの様子を予め共有しておくことで、受け入れ態勢を万全にするよう努めています。
- ③ 登録児童の個別の状況を把握するため児童台帳を作成し、保護者の心配事や要望などを記入してもらうようにしています。また日々の連絡帳の記録から気になる内容は職員間で共有し、必要に応じて直接面談をおこなうなどして、対応しています。

4 特に配慮を要する児童・家庭の個別状況に応じた計画策定・記録

1 定められた手順に従って情報収集、分析および課題設定 を行い、子ども・家庭の課題を理解した個別の支援を計画している	
1. 配慮を要する子どもや保護者の心身状況や生活状況、ニーズ等を、明示する手続きを定め、記録し把握している	○
2. 支援の計画は定期的見直しの時期と手順を定めている	○
3. 個別の支援内容は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して計画的に作成されている	○
4. 計画を保護者にわかりやすく説明している	○
5. 配慮を要する子ども・家庭の支援について、関係機関との連携を図っている	○
6. 配慮を要する子ども・家庭の支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○
2 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	
1. 配慮を要する子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○
2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○
3 配慮を要する子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	
1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○
2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○
<p>【講評】 必要に応じてケース会議をおこない適切な支援を心がけています</p> <p>① 子どもたちに気になる様子が見られた際には、日誌に記録し、職員間で共有しています。必要に応じて保護者と面談をおこない、子どもの状態について互いに共通理解をしたうえで最適な支援方法を協議しています。</p> <p>② 児童館の職員だけでなく外部の関係機関や団体などとケース会議や状況確認などをおこなった場合は、対象児について個人別に記録しファイリングしています。家庭環境の変化などはその都度個人台帳に記載し、すべての職員が把握できるよう努めています。</p>	
5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
1 子どものプライバシー保護を徹底している	
1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○
2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○
2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している	
1. 日常活動の中で子ども一人ひとりを尊重している	○
2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○
3. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	○
4. 子どもの権利擁護のための規定が定められ、公表されている	○
<p>【講評】 子どものプライバシーや個人の尊厳について高い意識をもって子どもに接しています</p> <p>① 法人で規定された「北白川児童館学童クラブ運営規程」のなかで、利用者へ差別的な扱いをしないこと、一人ひとりの人格を尊重することなど権利擁護のための規定が定められており、職員はこの規程に基づいて日々子どもたちと接しています。</p> <p>② 宗教上やアレルギーなど個別の生活習慣や事情、また保護者の要望を尊重し、支援をおこなっています。</p>	

6 事業所業務の標準化

1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		
1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○
2. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○
2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		
1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		○
2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		○
3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる		○
3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		
1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている		○
2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		○
3. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		○
4. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		○
<p>【講評】</p> <p>職員が均質のサービスを提供できるよう業務の標準化に努めています</p> <p>① 児童館の業務にかかる手引書が整備され、各職員がそれぞれの業務に当たっています。</p> <p>② 京都市児童館共通の活動指針に準拠するとともに、各種マニュアルを業務に活用しています。</p>		

VII. 情報の保護・共有

1 情報の保護・共有に取り組んでいる		
1	事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○
	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○
2	個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	
	1. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○
	2. 個人情報の保護について職員（実習生やボランティアを含む）が理解し行動できるための取り組みを行っている	○
<p>【講評】 児童館の利用者や関係者のプライバシーに適切な配慮をしています</p> <p>① 情報共有システムにおいて、アクセスコードを設定して情報漏洩防止に努めています。</p> <p>② 「福祉分野における個人情報保護に関するガイドライン」（厚生労働省）に基づいて、利用者の個人情報を適切に運用しています。</p> <p>③ 児童館において子どもに関わる実習生やボランティアに対して、守秘義務に関する誓約書の提出を求めて厳格に対処しています。</p>		

総評

■特に良い点

ポイント1	法人本部との意思疎通が良好であり、児童館が計画的に運営されています
	児童館において、中長期の計画から年間計画、役割分担が作成されています。幹部や館長のリーダーシップが機能して、職員がその役割にまい進していることが見て取れました。
ポイント2	児童クラブの在籍児童が多い児童館でありながら、自由来館の子どもの居場所にもなるよう細やかな配慮があります
	小学校内にある児童館の特徴を活かした連携状況が見られ、学校施設の活用などに活かされています。児童クラブ在籍児童と自由来館の子どもたちとの交流機会も自然に作られています。また、自由来館の子ども用や、乳幼児を持つ保護者が長時間児童館を利用できるように、乳幼児の専有スペースを設けるなど、随所にきめ細やかな工夫・配慮がなされ、多くの地域の利用者にサービス提供されています。
ポイント3	保護者と良好な関係を保ちながら活動しています
	児童クラブや乳幼児クラブ登録児童だけでなく、自由来館児童の保護者からも相談を受けるなど、職員が保護者からの信頼を得て活動している様子が伺えます。また児童クラブ保護者がクラブの運営をサポートするためのネットワークを自主的に組織化し、イベントのお知らせやお手伝いのよびかけをおこなうなど、互いに支え合いながら子どもの成長を見守る関係性が作られています。

■改善が望まれる点

ポイント1	中高生が来館しやすい雰囲気づくりが求められます
	中高生専用の利用時間を設けたり、シアター会を実施するなどして、中高生に特化した取り組みをおこなっています。学童クラブの卒会生を中心に少しずつ日常的な利用が見られるようになりましたが、増加には結びついていない状況です。小学校敷地内という立地条件ではありますが、中高生が訪れやすい雰囲気づくりでさらなる利用を促進し、年長児童の居場所としても機能することが期待されます。
ポイント2	児童館事業と児童クラブ事業の業務バランスが保たれることが望まれます
	職員は、日々100名近くの児童クラブ登録児童の対応をしながら自由来館児童へも積極的に関わっています。今後、高学年児童や中高生の利用促進を図るうえでは、児童クラブにおいては保護者ネットワークとの積極的な連携、また児童館では学生や地域住民などボランティアとの日常的な協力体制も視野に入れながら、さらに利用者との信頼関係が高まるような一層の工夫が期待されます。